

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第8回競技運営専門委員会

会議資料



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2024

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

日時：令和2年2月5日（水）10:00～11:30

会場：滋賀県大津合同庁舎7-A会議室

競技運営専門委員会 委員

h31.4～(順不同:敬称略)

選出区分	機関・団体名および役職名	氏名
スポーツ 関係	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 競技力向上担当 次長	ナカニシ アツコ 中西 敦子
	滋賀県障害者スポーツ協会 事務局員	イセノリ 美喜 伊勢坊 美喜
	一般財団法人滋賀陸上競技協会 理事	ヤギ サチオ 八木 佐知男
	滋賀県水泳連盟 理事長	サワ ヒロノブ 澤 弘宣
	公益社団法人滋賀県サッカー協会 専務理事	マエダ コウイチ 前田 康一
	滋賀県テニス協会 国体強化委員会 副委員長	スガワラ マチコ 菅原 万智子
	滋賀県バレーボール協会 国スポ担当	ウキタ トシ 浮田 豊史
	滋賀県バスケットボール協会 審判副委員長	カウ ヨシアキ 加藤 善明
	滋賀県柔道連盟 理事	サカタ カズ 坂下 和子
	滋賀県弓道連盟 副会長	ナカムラ ケンイチロウ 中村 傳一郎
学校関係	滋賀県中学校体育連盟 理事長	アンドウ マサヤス 安東 雅恭
	滋賀県高等学校体育連盟 理事長	ヒガシニ マサヒロ 東谷 正宏
学識経験者	立命館大学スポーツ健康科学部 教授	オカモト ナオキ 岡本 直輝

說明事項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 競技運営専門委員会
会議公開方針（改正案）

第 1 趣旨

この方針は、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会競技運営専門委員会（以下「専門委員会」という。）の会議の公開について必要な事項を定めるものとする。

第 2 会議の公開・非公開の取扱

- 1 専門委員会の会議は、原則として公開するものとする。
- 2 次のいずれかの場合にあつては、委員長が専門委員会に諮って会議を非公開とすることができる。
 - (1) 滋賀県情報公開条例第 6 条各号に掲げる情報に該当すると認められる事項に準じる事項を審議する場合
 - (2) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に支障が生じるおそれがあると認められる場合

第 3 会議の開催の通知

専門委員会は、公開の会議を開催する場合（議題の一部について公開する場合を含む。）は、事務局においてあらかじめ次の事項を記載した会議開催案内を作成し、会議開催当日の 1 週間前まで（緊急に会議を開催する必要があるときは、前日まで）にインターネット上の滋賀県ホームページへの掲載により県民に周知するとともに、報道機関に資料提供を行うものとする。

- ア 開催日時
- イ 開催場所
- ウ 議題
- エ 傍聴者の定員
- オ 傍聴の手続き
- カ 議事録等の公表の時期および方法
- キ 問い合わせ先

第4 公開の方法等

専門委員会の会議の公開の方法は、会議の傍聴および会議結果の公表の方法により行うものとする。

1 会議の傍聴

- (1) 会議の傍聴については、傍聴希望者（報道関係者を除く。）の内から委員長が傍聴を許可する。

なお、報道関係者には、公開する会議の取材を認めるものとする。

また、会議の全部を非公開とする場合にあっても、議事に入るまでの間の報道関係者の取材は認めるものとする。

- (2) 傍聴者の定員は、10名とする。

ただし、会議場の都合等でやむを得ない理由がある場合には、10名未満の数とすることができる。

- (3) 前2項の規定にかかわらず、委員長が特に認める者は、会議を傍聴することができる。

- (4) 会議の一部を非公開とする場合、委員長は当該非公開議題の議事に先立ち、傍聴および報道関係者へ会場からの退席を指示するものとする。

- (5) 傍聴者は、抽選により決定する。

ただし、会議の開会時刻の20分前までに傍聴を希望した者が定員に満たない場合は、会議の開会時刻まで定員内で先着順により決定する。

- (6) 委員長は、公開の会議の秩序を維持するため、必要な定めをすることができる。

2 会議結果の公表

公開した会議の結果については、事務局において議事録（非公開の議題については、会議要録）を作成し、原則として1か月以内に滋賀県ホームページへの掲載による情報提供に努めるものとする。

ただし、個人名等公開することが不相当と認められる事項について公開しないこととすることができる。

第5 その他

本方針に定めのない事項は、委員長が専門委員会の意見を聞いて必要の都度定めるものとする。

審議事項

第79回国民スポーツ大会 記録業務基本方針（案）

第79回国民スポーツ大会における競技成績等記録の収集、速報および総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」および「国民体育大会記録情報処理要項」に基づき行うほか、次の基本方針により実施する。

1 記録業務の推進

滋賀県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）、会場地市町準備（実行）委員会（以下「会場地委員会」という。）および関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

2 記録本部の設置

県委員会および会場地委員会は、記録業務を円滑に推進するため、それぞれ記録本部を設置する。

3 記録システムの使用

県委員会は、記録業務を効率的に実施するため、競技成績等記録を正確かつ迅速に処理することのできる記録システムを使用する。

4 その他

その方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

わたSHIGA輝く国スポ 記録業務スケジュール

参考資料①-1

年度	日本スポーツ協会	県	会場地市町	県競技団体
R元 (5年前)				
R2 (4年前)		<p>記録業務基本方針の策定</p> <p>県記録本部 設置場所の検討</p> <p>鹿児島国体視察</p>		
R3 (3年前)		<p>記録業務基本計画の策定</p> <p>三重国体実務研修(9月～10月)</p>	<p>三重国体視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先催市町の記録業務の状況把握 ・競技記録本部設置場所の検討 	
R4 (2年前)	<p>国スポ記録システム 参入業者募集</p> <p>国スポ記録システム 参入業者決定 (3月末)</p>	<p>競技運営担当者会議(6月) ○競技記録業務の概要説明</p> <p>栃木国体実務研修(9月～10月)</p> <p>競技運営専門委員会 ○県記録本部設置場所の選定 ○県記録本部設置要綱の策定</p>	<p>競技会場記録本部設置場所の検討</p> <p>栃木国体視察</p>	
R5 (1年前)	<p>国スポ記録システム 参入業者指定 (4月)</p>	<p>国スポ記録システム 指定業者との協議</p> <p>県記録本部設営設計委託</p> <p>第1回 記録業務説明会(7月)</p> <p>佐賀国スポ実務研修(9月～10)</p> <p>記録業務に関する担当者ヒアリング</p>	<p>競技会場記録本部設置場所の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技記録責任者・担当者の選任 ・総合成績責任者・担当者の選任 <p>佐賀国スポ視察</p>	
R6 (開催年)		<p>国スポ記録システム 委託業者決定・契約</p> <p>県記録本部員 選任</p> <p>県記録本部設営委託</p> <p>県記録本部の設置</p>	<p>競技記録担当者および総合成績担当者 名簿作成</p> <p>競技会場記録本部の現地調査</p> <p>第2回 記録業務説明会(7月)</p> <p>県記録本部員研修会</p> <p>競技会場記録本部の設置</p>	
<p>わたSHIGA輝く国スポ (第79回国民スポーツ大会)</p>				

※このスケジュールは、必要に応じて改訂する。

記録業務について

(1) 記録業務とは

「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」および「国民体育大会記録情報処理要項」に基づき、国民体育大会で実施する各競技の競技記録や競技運営に関する情報（以下「競技記録等」という。）を収集・速報するとともに、総合成績を算出する業務をいう。

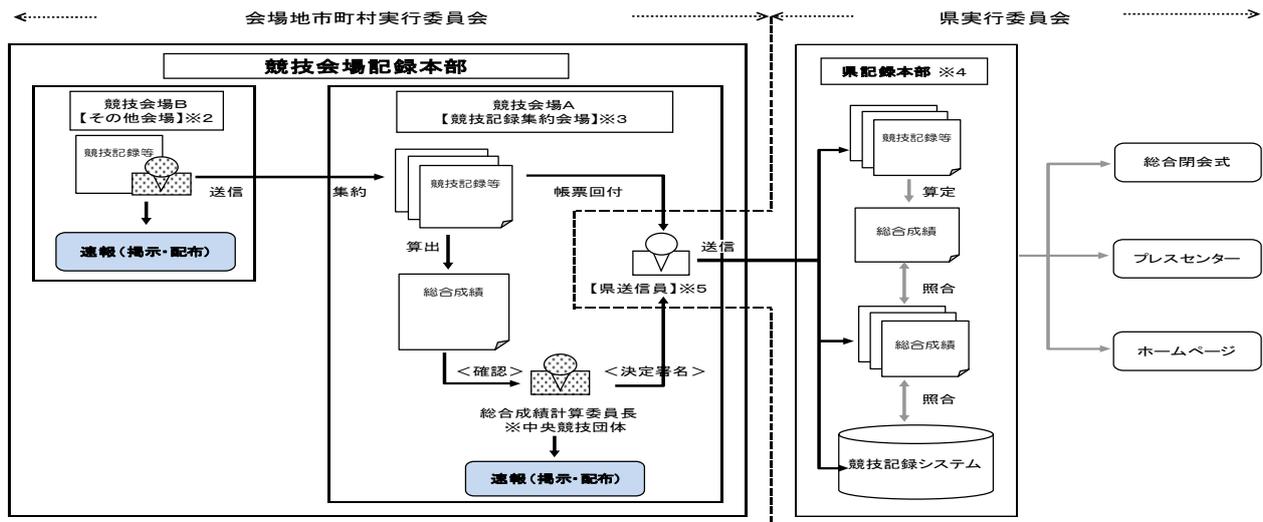
「競技記録等」とは…

- ①競技成績（競技結果、トーナメント表、得点等）、②定期連絡事項（競技開始連絡、競技終了連絡）、③緊急連絡事項（プログラム訂正、記録訂正、新記録、競技の中断・再開・中止、日程変更等）

(2) 主な業務内容

- ・記録本部の設置 ・記録情報の収集 ・記録情報の発表 ・総合成績の算出、帳票作成
- ・成果物（ロス協へ提出） ・大会終了後の記録の公開等

(3) 記録業務の流れ（先催県参考資料）



※1 競技記録等	競技記録及び競技運営に関する情報 ○競技記録・・・競技結果、スタートリスト、トーナメント表 ○定期連絡・・・競技の開始、競技の終了 ○緊急連絡・・・競技の遅延・中断・再開・中止、スケジュール変更、プログラム訂正、競技記録の訂正、新（タイ）記録
※2 その他会場	複数会場で実施される競技のうち、競技記録集約会場以外の会場
※3 競技記録集約会場	単会場場で実施される競技会場、または複数会場で実施される競技の競技会場の中から、会場地市町と競技団体が協議して選定した会場
※4 県記録本部	国民体育大会開催基準要項第36項に基づき、競技記録等を記録し、円滑に発表するため県実行委員会が設置する記録本部
※5 県送信員	競技記録集約会場から県記録本部へ競技記録、総合成績等の帳票送受信業務を行うため県から派遣する専門員

「いきいき茨城ゆめ国体」における記録業務諸室の様子

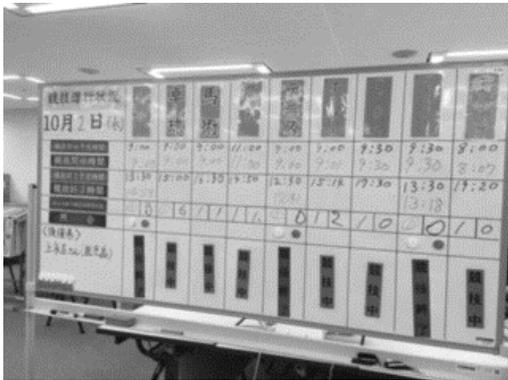
★各競技会場における記録本部の様子

- ・机、椅子、ホワイトボード、パソコン、プリンター、コピー機、FAX機、電話等を設置
- ・記録本部の広さとしては、8人程度が入れるスペースで対応している。
(競技によって差あり)



★競技状況の確認

- ・ホワイトボード等を用いて、競技の進行状況等を共通理解している。
- ・記録用紙については、各競技・種別・試合順等に仕分けして棚に収納している。
- ・コピー機で、結果用紙のマス刷り等に活用している。



第 79 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項（案）

1 趣旨

この要項は、「第 79 回国民スポーツ大会競技運営基本方針」に基づき、第 79 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）における各競技会の円滑な運営に資するために、会場地市町と関係競技団体が実施する競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）に関して基本的な事項を定める。

2 目的

大会の目的は、次のとおりとする。

- （１）会場地市町および関係競技団体の競技会運営能力の向上を図り、国スポの円滑な開催に資する。
- （２）県民の国スポおよび競技に対する関心を高め、理解を深めるとともに、国スポ開催の機運醸成を図る。

3 開催期間および回数

大会は、会場地市町と関係競技団体が協議の上、各会場地において令和 5 年度から国スポ開催時までの間に、原則として 1 競技につき 1 回実施できるものとする。

4 大会の開催

大会は、会場地市町と関係競技団体が協力して開催するものとし、分散開催の競技については、複数の会場地市町により共同で実施することができるものとする。

5 大会の規模

大会は、原則として参加者数および競技役員数が国スポの規模を上回らないものとし、近畿地区大会の活用等に努めるものとする。なお、これによらない場合は、滋賀県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）と別途協議するものとする。

6 大会の運営

- （１）大会は、国スポにおける各競技会に準じて運営する。なお、複数会場市町で共同開催する場合は、会場地市町間で業務分担等について綿密な調整を図るものとする。
- （２）大会に使用する施設は、原則として国スポで使用する施設とする。
- （３）大会は、会場地市町および関係競技団体の実情に応じたものとし、双方が協力して創意工夫することにより、簡素で効率的な運営に努める。

7 大会の経費

- （１）大会の経費は、会場地市町および関係競技団体が負担するものとする。
- （２）大会は、華美、過大にならないよう留意し、その経費については、大会の目的が達

成できる必要最小限にとどめるものとする。

8 開催の手続き

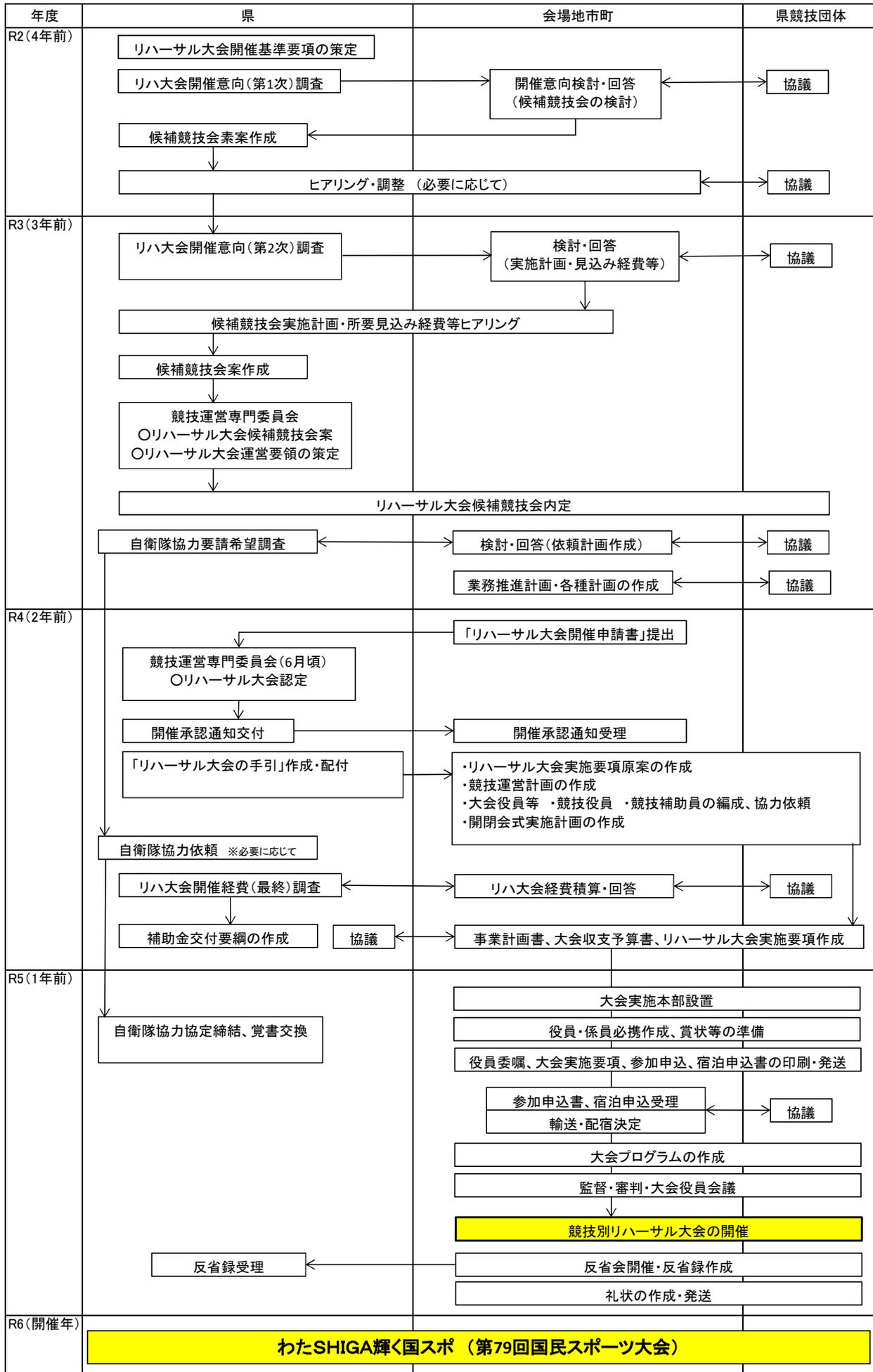
大会を開催する会場地市町は、関係競技団体と協議の上、大会開催申請書を県委員会に提出し、承認を求めるものとする。なお、提出する申請書および提出時期については別に定める。

9 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、別に定めるものとする。

競技別リハーサル大会業務スケジュール

参考資料②-1



※このスケジュールは、必要に応じて改訂する。

先催県競技別リハーサル大会実施傾向一覧

参考資料②-2

※ は毎年慣例になっている競技大会(参考: 岩手、愛媛、福井、茨城、鹿児島)

競技名		開催状況		
		慣例等	時期	主な大会名
1	陸上競技	各年	8月～9月	ブロック大会規模を開催
2	水泳	競泳	各年	7月～8月 ブロック大会規模を開催
		水球	各年	
		飛込	各年	
		アーティスティックスイミング	各年	
		オープンウォータースイミング	各年	
3	サッカー	慣例	10月	全国社会人サッカー選手権大会
4	テニス	慣例	7月下旬	全日本都市対抗テニス大会
5	ボート	各年	7月	ブロック大会規模を開催
6	ホッケー	慣例	9月	全日本社会人ホッケー選手権大会
7	ボクシング	慣例	11月中旬	全日本ボクシング選手権大会
8	バレーボール	6人制	各年	ブロック大会規模を開催
		ビーチバレー	各年	ブロック大会規模を開催
9	体操	競技	各年	7月～8月 ブロック大会規模を開催
		新体操	各年	7月～8月 ブロック大会規模を開催
		トランポリン	※2019茨城国体から導入 開催実績なし	
10	バスケットボール	各年	8月中旬	茨城国体まで 全日本教員バスケットボール選手権大会 鹿児島国体 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会
11	レスリング	各年		ブロック大会規模を開催
12	セーリング	慣例	9月中旬	全日本実業団ヨット選手権大会
13	ウエイトリフティング	慣例	11月中旬	全日本社会人、全日本女子選抜選手権大会
14	ハンドボール	慣例	8月中旬	ジャパンオープンハンドボールトーナメント
15	自転車	トラック	慣例	8月 全国都道府県対抗自転車競技大会
		ロード		
16	ソフトテニス	慣例	7月下旬	全日本実業団ソフトテニス選手権大会
17	卓球	慣例	10月中旬	全日本卓球選手権大会(団体)
18	軟式野球	各年		ブロック大会規模を開催
19	相撲	慣例	8月下旬	全国教職員相撲選手権大会
20	馬術	各年	開催年6月	仮設会場でリハ大会を設定して開催
21	フェンシング	慣例	11月	全日本フェンシング選手権大会(団体)
22	柔道	各年		ブロック大会規模を開催
23	ソフトボール	慣例	9月中旬	主に全日本総合女子ソフトボール選手権 ※近年、全日本総合女子ソフトボール選手権の開催が継続しているので慣例とした。
24	バドミントン	慣例	11月	日本リーグ(2部)
25	弓道	慣例	6月上旬	全日本勤労者弓道選手権
26	ライフル射撃	CP	慣例	9月～10月 全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会
		CP以外	慣例	9月～10月 全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会
27	剣道	各年		ブロック大会規模を開催
28	ラグビーフットボール	各年		ブロック大会規模を開催
29	スポーツライミング	リード	慣例	開催年 福井国体まで:リード・ジャパンカップ〇〇(都道府県名)大会
		ボルダリング	慣例	開催年 茨城・鹿児島国体:日本学生スポーツライミング対校選手権大会
30	カヌー	スプリント	各年	ブロック大会規模を開催
		スラローム・ワイルド	各年	5月～6月 ブロック大会規模の大会に独自の大会を組み合わせ開催する傾向
31	アーチェリー	各年		ブロック大会規模を開催
32	空手道	各年		ブロック大会規模を開催 ※ブロック大会(形のみ)に、ブロック大会規模の大会(組手を含む)を組み合わせ開催
33	銃剣道			ブロック大会規模を開催 ※2023佐賀国スポより毎年開催競技
34	なぎなた	慣例	5月下旬	都道府県対抗なぎなた大会
35	ボウリング	慣例	11月上旬	全国都道府県対抗ボウリング選手権大会
36	ゴルフ	各年		ブロック大会規模を開催
37	トライアスロン			ブロック大会規模を開催
特別競技	高等学校野球	硬式	各年	ブロック大会規模を開催
		軟式	各年	ブロック大会規模を開催

報告事項

いきいき茨城ゆめ国体（第74回国民体育大会）
参加者アンケートの結果概要について

1. 目的

5年後に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会の準備を進める上での参考とし、大会を成功に導くため、実際に大会に参加した関係者から意見を聴取する。

2. 実施時期

令和元年 8月29日 会期前競技結団壮行式で配付

令和元年 9月19日 結団壮行式で配布

令和元年 10月31日 締切

3. 対象者

390人（選手341人、監督49人）

4. 回答者数（回答率）

276人（選手225人、監督・コーチ47人、支援スタッフ等4人）（70.7%）

（R1.12.26現在）

5. 項目別評価

（1）競技運営について

良い←		→良くない			無回答
5	4	3	2	1	
96人	94人	65人	12人	5人	
35%	34%	24%	4%	2%	1%

（良かった点）

- ・大会中3日間雨が降ったが、室内練習場のような屋根付き練習場が準備されていた。大きな大会には必要である。（陸上競技）
- ・挨拶してくれる人が多くて、温かいスタッフの方々が多かった。（バレーボール）
- ・進行がとてもスムーズでよかった。（バドミントン）
- ・地元の学生さん、たくさんのボランティアの方も、大会を支えてくださってありがたかった。（トライアスロン）

（良くなかった点）

- ・日によって警備の堅さが違った。（競泳）
- ・学生の放送が聞き取りにくい点が多かった。（レスリング）
- ・タイムスケジュールをもう少し詳細に記入して欲しい。（自転車）

- ・決勝が月曜日平日であったため、観客が少なかった。(空手道)

(2) 会場となった施設について

良い←						→良くない	
5	4. 5	4	3	2	1	無回答	
91人	1人	99人	60人	18人	3人	4人	
33%	0%	36%	22%	7%	1%	1%	

(良かった点)

- ・空調が完備されており、過ごしやすい環境が整っていた。(弓道)
- ・広さ、照明、トイレなど、申し分ない施設だった。(卓球)
- ・スロープは広くて、ホースも数多くあり、艇の出艇・着艇はスムーズにできた。(セーリング)
- ・アップ会場も増設されていたので選手にとって良かった。また、観客席が(選手・コーチ)(一般)とわかれていたのが良かった。(レスリング)

(良くなかった点)

- ・着替えるところがテントで、狭かった。(サッカー)
- ・周辺にコンビニなどが少なく、補食や水分など買うのに不便だった点。(陸上競技)
- ・喫煙所が選手の控室と近すぎてオープンなので、分煙になっていない。(テニス)
- ・アップ会場でもボールをさわられるようにして欲しい。(ホッケー)
- ・風で工場のおいひどいことが良くなかった。(カヌー(スプリント))

(3) 「おもてなし」について

良い←						→良くない	
5	4. 5	4	3	2	1	無回答	
109人	1人	73人	65人	4人	7人	17人	
39%	0%	26%	24%	1%	3%	6%	

(良かった点)

- ・無料ドリンクなど充実していた。地元の学生による提供も良かった。明るく元気で気持ちいい対応でした。(ボウリング)
- ・土産物の出店があったのでよかった。(バドミントン)
- ・ゴミの分別場所に人がいたのも Good。ゴミが散らからなかった(ソフトテニス)
- ・茨城の納豆とか特産品が買えて良かったです。(なぎなた)

(良くなかった点)

- ・おもてなし場が遠かった(カヌー(スプリント))
- ・座るところが少なかった(水球)
- ・おもてなしは一般観客で飲み物・特産品も少量ですぐに無くなり、利用できな

った。選手専用のおもてなしも有ればよい。(クレール射撃)

(4) 宿舎について

ホテル	旅館	民宿	民泊	その他	無回答
138人	94人	9人	3人	18人	14人
50%	34%	3%	1%	7%	5%

良い←

→良くない

5	4	3	2	1	無回答
53人	81人	68人	37人	18人	19人
19%	29%	25%	13%	7%	7%

(良かった点)

- ・従業員の方の人柄が良く、あいさつなどにより心が洗われた。(陸上競技)
- ・ご飯が美味しい。氷をアイスボックスに毎回いれていただいた。(オープンウォータースイミング)
- ・会場に近かった。スーパーやコインランドリー等も近かった。(スラローム・ワールドウォーター)

(良くなかった点)

- ・移動時間が長い。(レスリング)
- ・ゴキブリが出てきて大変だった。虫、カエルが無理だった。(馬術)
- ・周りにコンビニなどや観光できるところがない。(ビーチバレーボール)
- ・コインランドリーがなかった。(セーリング)

(5) 食事について

良い←

→良くない

5	4	4	3	2	1	無回答
78人	1人	86人	73人	15人	8人	15人
28%	0%	31%	26%	5%	3%	5%

(良かった点)

- ・宿舎の食事は品数も多く、時間にも柔軟に対応していただきありがたかった。(トライアスロン)
- ・夜ご飯は種類がたくさんあり、毎日変わっていたのでよかった。(セーリング)
- ・バイキング方式で、好きなものを食べることができた。個性のある選手対応ができた。会場が広く、バイキングも4レーンあったので混雑しなかった。(スポーツクライミング)

(良くなかった点)

- ・競技期間中に生ものが出てくるのは、食あたりなどの心配があり、良くない。(陸上競技)
- ・宿泊施設の朝食が時間の都合上食べられない日があった。(ボウリング)
- ・油物などが多くて、試合のあいまなどで、摂ることができなかった。(テニス)

(6) 会場への移動

良い←

→良くない

5	4	3	2	1	無回答
86人	67人	64人	21人	16人	22人
31%	24%	23%	8%	6%	8%

(良かった点)

- ・各県に1台バスがあり、気を遣わずに利用することができた。(競泳)
- ・距離があるにも関わらず、時間通りかつ、時間の融通を聞いてもらいました。(バスケットボール)
- ・とても近かった。タクシーチケットがあった。(カヌー (スプリント))

(良くなかった点)

- ・宿舎の場所が細道の住宅街にあったので行きづらかった。(ホッケー)
- ・無料バスが1時間に1~2本しかなく、それに合わせてアップなどの計画を立てなければならなかった。(陸上競技)
- ・出入口が少なく、最初どこかわからなかった。(レスリング)
- ・幹線道路が多く、通勤時間帯のラッシュを避けるため、相当早く宿舎を出なければならなかった。(自転車)

(7) その他

- ・トイレがたくさんあり、大変良かった。シャトルバスの出発所もわかりやすく良かった(陸上競技)
- ・応援場所が少ない。国民のスポーツ大会なので、もっと多くの人が観戦できるようにしてほしい(競泳)
- ・長崎・岐阜、そして今回と、マットが横並びで4面敷ける会場が良い! 応援してくれる人も「応援しやすい」という声があった。(レスリング)
- ・試合会場の入り口を3つくらいにしてほしいです。混雑が・・・(アーチェリー)
- ・オーロラビジョンは一般席でなく、レースが見えない選手が見られるよう、艇置き場に設置すべきです。(カヌー (スプリント))
- ・全てにおいて良い環境だったと思う。なぎなたの監督、選手は国体に慣れている人が多いのでそう感じたのかもしれません。シンプルでよかった。(なぎなた)
- ・総合開会式の待機時間がすごく長い。総合開会式から試合までの日数の空気が長い。

(ホッケー)

- ・大変居心地の良い国体でした。(卓球)
- ・アスリートファーストで企画されたか不明でした。(クレール射撃)

(8) 滋賀で開催する国スポに向けて

<開催準備>

- ・びわ湖など、自然豊かな滋賀県を他県の選手が感じられる国体にしたい。(陸上競技)
- ・県民として、今どのように計画が進んでいるのか分からないので、駅にポスターとか SNS とかで発信してほしい。そうして目に映ることで協力してくれる人も絶対増えると思うし、県のためになると思います。5年はアッという間なので、大変だと思いますが、人々の思い出となる1年に1回の大会のため、よりよい大会にしてほしいです(陸上競技)
- ・一般の方も楽しめるように屋台などを設置すればいいと思います。(バドミントン)

<競技運営>

- ・選手ファーストな運営と導線、食事など、全ての選手の事を考えた国民スポーツ大会になればと思います(競泳)
- ・射撃場を作ればいいのに、作らずに大阪で開催する方向で考えていると聞いて、こんなに頑張っているのにとても残念だと思いました。他の県はきれいな施設があって頑張っていないのに不平等です。会場は滋賀にするべきです。(ライフル射撃)
- ・選手のことを一番に考えたタイムスケジュールにするべきだと思います。また、役員の方は笑顔で元気であると、他県のかたもすごく過ごしやすいと思います。(アーチェリー)

<施設整備>

- ・陸上においてはメインとサブの競技場が遠く、監督・コーチや選手にとっては厳しい状況である。いかに府県テントの位置や動線の確保をストレス無きものにするかが重要だと思う。雨対策についても熟慮していただきたい(練習環境・テント・動線)(陸上競技)
- ・テニスにおいては、1会場開催と照明設備の充実を希望します。(テニス)
- ・選手が力を発揮しやすい環境づくりはもちろんだが、観客が応援しやすい環境づくりも視点に入れていくと良い。(レスリング)

<宿泊・食事>

- ・宿舎はできるだけ会場近辺で確保してほしいと思います。(セーリング)
- ・宿舎の確認(評価)を行ったうえで配宿を行う！国体で迎えるには失礼な宿もある。

(ソフトテニス)

- ・滋賀県のアピールを忘れずに！選手に競技に集中してもらえる環境づくり(宿泊・食事など)(ボウリング)

いきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）
参加者アンケートの結果概要について

1. アンケートの目的

5年後に滋賀県で開催する第24回全国障害者スポーツ大会の準備を進める上での参考とし、大会を成功に導くため、実際に大会に参加した関係者から意見を聴取する。

なお、いきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）は台風19号の接近に伴う影響を考慮し、全日程「中止」になったため、出場選手に配慮し、役員のみアンケート協力をいただいた。

2. 回答者数

13人

3. 項目別評価（意見を抜粋）

（1）競技運営について

※全日程「中止」のため、回答無し

（2）会場となった施設について

※全日程「中止」のため、回答無し

（3）宿舎について

（良かった点）

- ・旅館、ホテルで大変親切にいただいた。

（良くなかった点）

- ・障害によっては、ユニットバスの浴槽が高くて利用できない。
- ・身体と知的で分けるのではなく、競技別に配宿をする方がよい。
- ・食事は宿泊輸送センターの管理であったため、アレルギー対応ができない。

（4）ボランティアについて

（良かった点）

- ・ボランティアと接することはなかったが、茨城県実施本部職員には親身に対応いただいた。
- ・駅での出迎え・送迎の際の手作り横断幕は良かった。

（良くなかった点）

- ・中止決定後、茨城県実施本部職員の対応が事務的で、参加選手団のサポートをしていただけなかった。

(5) 会場への移動について

※全日程「中止」のため、回答無し

(6) その他

<緊急時対応>

- ・開催を模索し続けた上でのぎりぎりの中止の判断と思うが、何より優先されるのは「安全」であり、参加都道府県が出発する前に「中止」を知らせてほしい。特に、障スポは災害弱者である障害者が多く来県することを念頭に検討してほしい。
- ・参加選手団を受け入れたら、離県するまで責任を持ってサポートする体制を用意してほしい。安全に素早く帰県できるように、現地本部にも協力してほしい。
- ・個人的に対応してくださった県職員がおり、大変心強かった。
- ・災害等の緊急時の方針決定のマニュアルを作り、速やかに方針決定できる対策が必要だと思う。

<開催準備>

- ・身体障害者の選手は、宿泊にかかる配慮事項を詳しく聞き、対応してほしい。段差、風呂、トイレ等の情報は特に詳しく教えてほしい。
- ・可能な限り選手団でまとまって宿泊したいが、競技会場と宿泊場所が遠方になる可能性が高いため、現実的には競技別の分宿としてほしい。
- ・ボランティアの印象が大会の印象に大きくつながる。
- ・国体期間中だけグッズ販売されているサテライト店があり、障スポ開催期間中に土産購入ができない。

公益財団法人日本スポーツ協会 国民体育大会委員会における決定事項について
（令和元年6月13日（金））

国民スポーツ大会体操競技の種別変更（新体操：少年男子の追加）について

○ 以下の理由等により、体操競技における種別変更を行う。

【変更理由】

- ・男女の別なく遍くスポーツ文化を豊かに享受できる環境を整備するため。
- ・少年種別（ジュニア世代）の充実のため。

【変更内容】

- ・第63回大会（大分県）から実施が休止となっている「新体操・少年男子」を実施する。

【変更時期】

- ・令和5年開催の第78回大会（佐賀県）から。

①参加人数について

＜第74回大会（茨城県）における参加人員＞

種別・種目		監督	選手	参加 都道府県	監督	選手	計	合計
体操	成年男子	1	5	13	13	65	78	最大 725名
	成年女子	1	5	10	10	50	60	
	少年男子	1	5	29	29	145	174	
	少年女子	1	5	29	29	145	174	
新体操	少年女子	1	5	28	28	140	168	
	少年男子	休止						
トランポリン	男子	1	1	18	18~35	18	54~71	
	女子		1	18		18		

＜第78回大会（佐賀県）以降の参加人員＞

監督	選手	参加 都道府県	監督	選手	計	合計
1	5	10	10	50	60	661名 ※上記の 人数内で 調整
1	5	10	10	50	60	
1	5	26	26	130	156	
1	5	26	26	130	156	
1	5	22	22	110	132	
1	5	10	10	50	60	
1	1	10	10~19	10	30~39	
	1	10		10		

②競技会運営に伴う変更等について

- ・「新体操・少年男子」については、1チーム5名による団体競技と、スティック、リング、ロープ、クラブの4種目の個人競技を実施。
- ・「新体操・少年男子」の競技会日程は、「新体操・少年女子」と交互に競技を進行するため、現行の競技会日数の増はない。また1日あたりの競技終了時間についても、大幅な延長とならない。
- ・「新体操・少年男子」では、体操競技の床種目で使用する規定の器具を使用する。
- ・「新体操・少年男子」の実施に伴い、中央競技役員として、審判長、主任審判員を担う3名が増となる。

競技運営関係等の業務スケジュール

* 大枠のスケジュールのため業務内容は時期が多少前後することがある

報告事項(3)

業務内容(項目)		2019年度(5年前)			2020年度(4年前)			2021年度(3年前)	
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~9月
競技会運営関係	大会会期	市町	全体会期意見照会		競技別会期調査(第1次)		競技別会期調査(第2次)	<全体会期決定> 競技別会期最終案確認	<<競技別会期決定>>
		団体	全体会期意見照会		競技別会期調査(第1次)		競技別会期調査(第2次)	<全体会期決定> 競技別会期最終案確認	<<競技別会期決定>>
	競技役員等編成	市町	編成調査(第1次)		編成案(第1次)見直し			編成調査(第2次) 競技補助員協力依頼先調査	
		団体	編成調査<市町作成協力>					編成調査<市町作成協力>	
	競技役員等養成	市町							
		団体	養成事業推進						
	競技用具	市町	整備計画(第1次)		整備計画(第2次)			整備計画(第3次)	
		団体	整備計画<市町作成協力>		整備計画<市町作成協力>			整備計画<市町作成協力>	
	リハーサル大会	市町			リハ大会開催意向調査(第1次)			リハ大会開催意向調査(第2次) リハ大会開催経費調査(第1次)	自衛隊協力要請希望調査 業務推進計画・各種計画の作成
		団体			リハ大会開催意向調査(第1次) <市町作成協力>			リハ大会開催意向調査(第2次) リハ大会開催経費調査(第1次) <市町作成協力>	自衛隊協力要請希望調査 業務推進計画・各種計画の作成 <市町作成協力>
練習会場	市町	練習会場案(第1次)調査		施設管理者への打診	練習会場案(第2次)調査		練習会場案(最終)調査 施設管理者への正式依頼		
	団体	練習会場案(第1次)調査 <市町作成協力>		施設管理者への打診	練習会場案(第2次)調査 <市町作成協力>		練習会場案(最終)調査 施設管理者への正式依頼 <市町への協力>		
運営交付金	市町			競技運営経費第一次調査およびヒヤリング					
	団体								
施設整備関係	施設整備計画	市町	整備計画(第2次)			整備計画(第3次)		整備計画(第4次)	
		団体							
輸送・交通関係	競技会場地輸送	市町			市町輸送・交通基本計画			競技会場地輸送等計画(第1次)	
		団体							
宿泊関係	配宿	市町	転用施設調査・民泊意向調査		第1次仮配宿			<<配宿方式の検討・決定>>	
		団体							

競技運営専門委員会の主な審議事項のスケジュール

